

みょうじんざき
明神崎

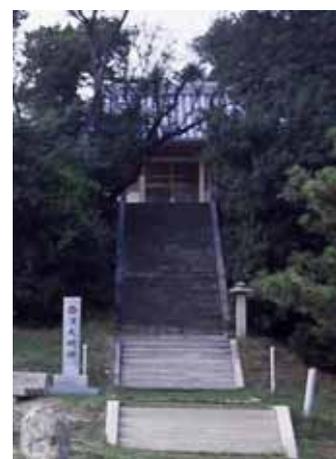
所在地：淡路市 明神



明神崎とイブキ群落



「耐力」 洲本市 三原浩氏撮影
(第1回淡路島景観フォトコンテスト応募作品)



西濱大明神

明神港は、古くから開け、海運業で栄えた良港でした。明神崎の岬には西濱大明神が祀られ、境内には県指定文化財として保存されているイブキ群落があります。

この群落にはイブキの他に、高木のウバメガシやクロマツ、低木のトベラ、モチノキやマサキ等、草本のハマナデシコ、ツワブキやコオニユリなどが自生しています。

明神崎のイブキは、海運業が栄えていたころに、船乗りが九州方面から持ち帰り植樹したと伝えられています。当時から、波風にさらされ表皮がはがれてしまっているイブキをみると、播磨灘に面する淡路島の厳しい自然を感じることができます。

- 【景観の特徴】
- ✓ 自然がつくりだす景観
 - 歴史がつくりだす景観
 - 生活・文化がつくりだす景観
 - 新しくつくりだす景観

【アクセス】

神戸淡路鳴門自動車道津名一宮 IC 下車、県道 88 号を北上、群家交差点を左折し県道 31 号線に入り西へ進む。車で約 30 分。



地図出典：国土地理院発行 2万5千分の1地形図